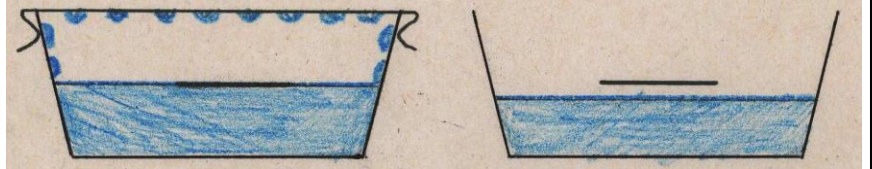


単 元	年 組 番
4 年「自然の中の水」	氏名

空気中に出て行く水

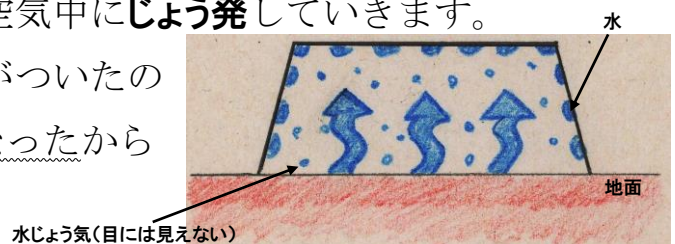
- 水は水じょう気となって空気中に出ていきます。水面などから水が水じょう気になって出ていくことを水の**じょう発**といいます。



- ふたをした入れものの内がわに水がついたのは、じょう発した水じょう気がふたたび、水になったからです。

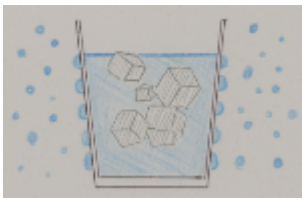
地面にしみこんだ水

- 雨の日のあと、地面に水がしみこみます。その後地面は日光で温められ、しみこんだ水は水じょう気となって空気中に**じょう発**していきます。
- 地面にふせた入れ物の内がわに水がついたのは、じょう発した水じょう気が水になったからです。



空気中にふくまれている水じょう気

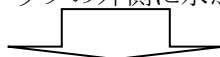
- 空気中に水じょう気がふくまれているのかどうかをコップに氷水をいれて確かめました。



結果

調べたところ	教室	かいだん	ろうか	げんかん	校庭
コップの外側	○	○	○	○	○

(※○はコップの外側に水がついたことをあらわします。)



- 空気中には水じょう気がふくまれていることがわかります。空気中の水じょう気はつめたいものでひやされると、つめたいものの表面で水になります。こうしたことを**けつろ**といいます。

単 元	年 組 番	6問
4年「自然の中の水」	氏名	

1 二つの入れものに同じ量の水を入れ、一つの入れものにはラップフィルムをかぶせておきました。2～3日後、入れものようすを調べて、右のように記録しました。

けっか
ふたをした入れものでは、ほとんど水がへらなかつた。
また、入れものの内がわには、水がたくさんついていた。
ふたをしなかつた入れものでは、水がへっていた。



このけっかからわかつたことをまとめた下の文の()の中にあてはまる言葉を

.....からえらんで書きましよう。同じ言葉を何度使つてもよいです。

ふたをしなかつた入れものの中の水がへつたのは、水はねつしなくても、水面から()して()となつて空気中に出ていつたからである。ふたをした入れものの内がわに水がついたのは、()した()がふたたび、()になつたからである。

水 氷 水じょう気 じょう発 ふつとう

2 雨がふつたあとの天気の良い日に、どうめいな入れものを地面にふせておきました。しばらくおいたあと、入れものの中のを調べました。

しばらくおいておくと、入れもの内がわに水がつきました。どうしてそうなるのか、考えをまとめるために右のような図をかきました。図を見ながら、入れもの内がわに水がついた理由を書きましよう。

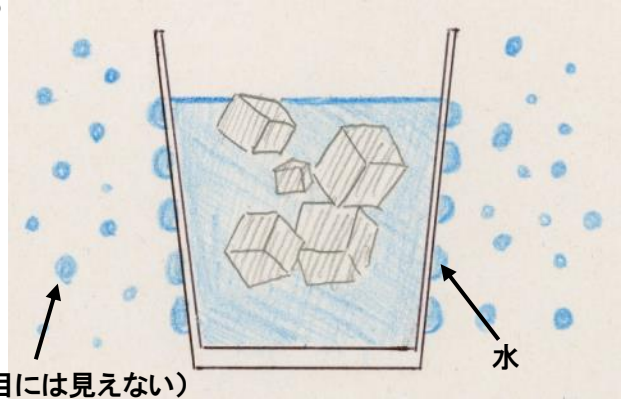


水じょう気(目には見えない)

単 元	年 組 番	3問
4年「自然の中の水」	氏名	

1 かわいたコップに氷水を入れ、コップの外がわのようすを調べました。

(1) しばらくおいておくと、コップの外がわに水がつきました。コップの外がわの水は、どうしてついたのかを、考えるために右のような図をかきました。図を見ながらコップの外がわに水がついた理由を書きましょう。



(2) コップの外がわについた水と同じでき方をしたものをえらんで、()に○を書きましょう。

- ①運動場でできた水たまり ()
- ②雪がとけてできた水 ()
- ③ふろ場のかがみのくもり ()

2 ほしておいた洗濯物せんたくものが、かわく理由をせつ明しましょう。

